

お客様・販売店様・特約店様用

フローティングスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。



警告

安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ

プラズマテレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様に渡してください。

このフローティングスタンドはソニー製の指定機器専用です。指定機器以外にはお使いにならないでください。

指定機器(2004年4月現在):
フラットパネルデジタルテレビ
(KDE-P55HX2/KDE-P61HX2/KDE-P61HX2N)

壁側に寄せて設置することをおすすめします。

SU-PF1L

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、右のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号



火災



感電



注意



禁止

お客様へ



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがの原因となります。

取り付けや設置作業は専門業者が行う
ディスプレイおよびスタンドは大変重いのので、落下や転倒により打撲や骨折など大けがの原因になります。取り付けは専門業者にご依頼ください。



注意

スタンドに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

スタンドが転倒して、けがの原因になります。



禁止



転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、ディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。フローティングスタンドと壁や柱などをつないで転倒防止の処置を行ってください。



注意

堅くて平坦な床面に設置する

傾いた床面に設置するとフローティングスタンドが転倒したり、ディスプレイが落下してけがの原因となることがあります。畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は、板など堅いものを敷いてください。



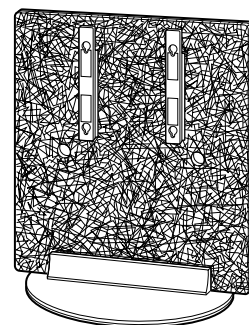
禁止

ひび割れが入ったスタンドは使わない

多少のひび割れでも使わないでください。ガラスが割れて、ディスプレイが落ちたり、スタンドが倒れたりしてけがの原因になります。



禁止



ひび割れた状態

スタンドにディスプレイを掛けた状態で、ディスプレイにぶら下がらない

スタンドが転倒して、大けが、死亡などの原因となることがあります。



禁止

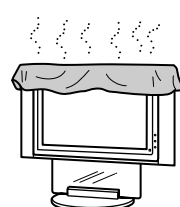


ディスプレイの通風孔をふさがない

ディスプレイの上に布をかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



注意

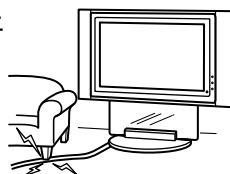


ディスプレイの電源コードおよびディスプレイケーブルをはさまないようにする

- ディスプレイをスタンドに取り付けるときは、電源コードおよびディスプレイケーブルをはさまないようにする。電源コードおよびディスプレイケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。
- テレビスタンドを動かすときは、電源コードおよびディスプレイケーブルを踏まないようにする。電源コードおよびディスプレイケーブルに傷がついて火災や感電の原因となります。



禁止



注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

指定機器以外の物を掛けない
このスタンドは指定機器専用です。指定機器以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。



禁止

ディスプレイを固定する
付属の留め板を差し込んでディスプレイをスタンドに固定してください。ディスプレイを固定しないと、ディスプレイが落ちたりしてけがの原因となることがあります。



注意

体重をかけたり、硬いものを落とさない
ディスプレイを取り付けるときに、ガラスに手をついて体重をかけたり、ドライバーなどの硬いものをぶついたりしないように注意してください。ガラスが割れたりしてけがの原因となることがあります。



禁止

スタンドを動かすときのご注意

無理に動かそうとすると、腰を痛めたり、足をけがしたりする原因になりますので、下記のことをお守りください。

- スタンドを動かすときは、必ずディスプレイをはずしてから、2人以上で行ってください。
- スタンドを動かすときは、足を底板の下や、ガラス板の角にはさまないようにご注意ください。



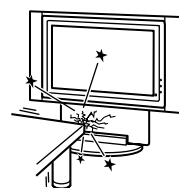
注意

ガラスに強い衝撃を与えない

スタンドには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、けがの原因となりますので下記のことをお守りください。



禁止



- 物をぶつける、先端のとがった物を落とすなど、強い衝撃を与えない。
- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。
- 掃除機など、固い物をガラスの端面に当てない。



禁止



設置上のご注意

設置場所は、堅くて平坦な床面にしてください。設置場所によってはスタンドの変形や傾きが生じることがありますので下記のことをお守りください。

- 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置く場合は板など堅い物を敷く
- 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
- 高温多湿の場所や屋外に置かない

使用上のご注意

お手入れをする際には、やわらかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍に薄め、やわらかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの化学薬品はテレビスタンドの仕上げを傷めることがありますので、使わないでください。

これ以降の取り付け・設置手順は

販売店様・特約店様用です。

販売店様・特約店様用

先に示した安全上のご注意をよくお読みの上、取り付けや設置、保守、点検、修理などを安全に行ってください。

設置は2人以上で行う
ディスプレイをフローティングスタンドに設置するときは、2人以上で行ってください。
1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。
また、設置するときは、子供が近づかないようにしてください。



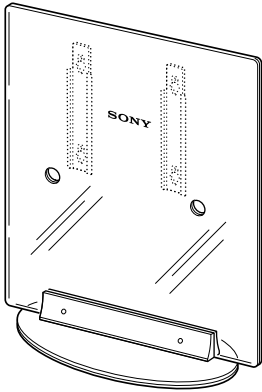
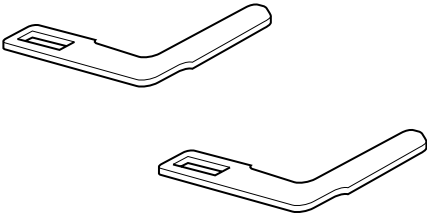
注意

取り付け手順に従って、ディスプレイをしっかりと取り付ける
ディスプレイがしっかりと取り付けられていないと、ディスプレイが落下し、けがの原因となることがあります。



注意

部品を確認する

名 称	数 量	名 称	数 量
フローティングスタンド 	1	留め板 	2

ディスプレイを取り付ける

販売店様・特約店様

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みの上、設置および保守・点検などを安全に行ってください。

⚠ 警告

機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。また、電源コードやディスプレイケーブルを引っかけると、転んだりスタンドが倒れたりしてけがの原因となる場合があります。

電源コードおよびディスプレイケーブルをスタンドの穴に通す

ディスプレイの設置場所を決め、あらかじめフローティングスタンドを置く。
ディスプレイは重いので、取り付ける前に場所を決め、フローティングスタンドを置いてください。

ご注意

スタンドを押したり、引いたりしないでください。スタンドの底に付いているゴム足がはがれる恐れがあります。

1

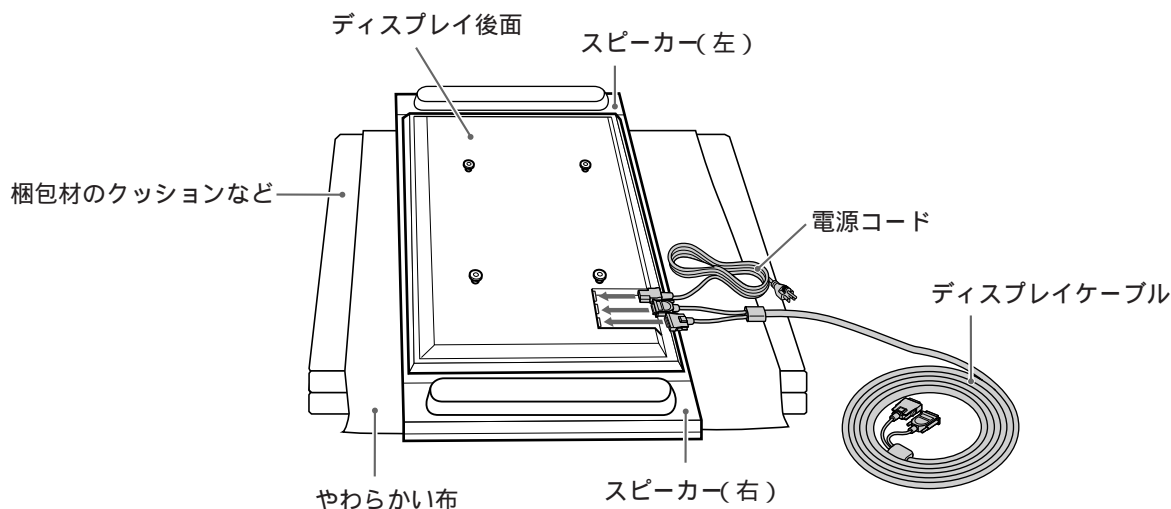
電源コードおよびディスプレイケーブルをディスプレイにつなぐ。

👁 ちょっと一言

電源コードおよびディスプレイケーブルの接続については、フラットパネルデジタルテレビ(KDE-P55HX2/KDE-P61HX2/KDE-P61HX2N)の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- スピーカー部分にディスプレイの荷重がかかると、スピーカーの変形や接触不良の原因になります。以下のことにご注意ください。
 - ディスプレイを持ち運ぶ際は、スピーカー部分を持たないでください。
 - ケーブル類をつなぐ際は、梱包材のクッションなどを、床とディスプレイ面の間に置いて、スピーカー部分が触れないようにディスプレイを載せてください。
- 必ずディスプレイが安定するように置いてください。
- ディスプレイ面に傷や汚れがつかないように、やわらかい布などで保護してください。

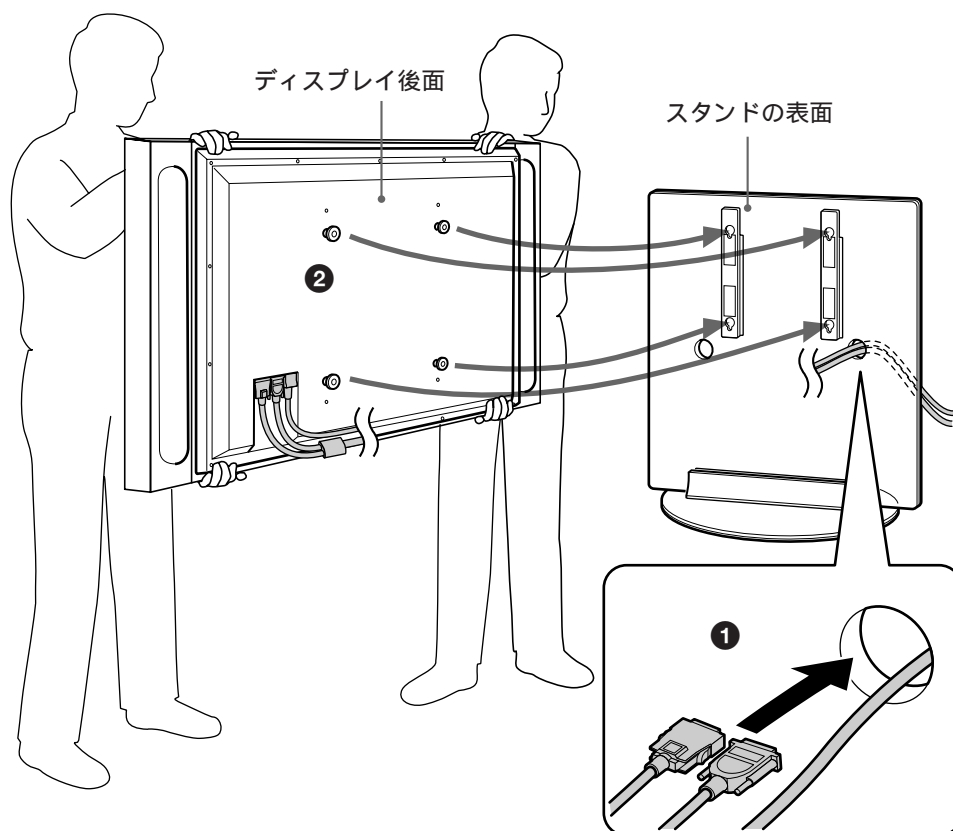


イラストは61インチモデルです。

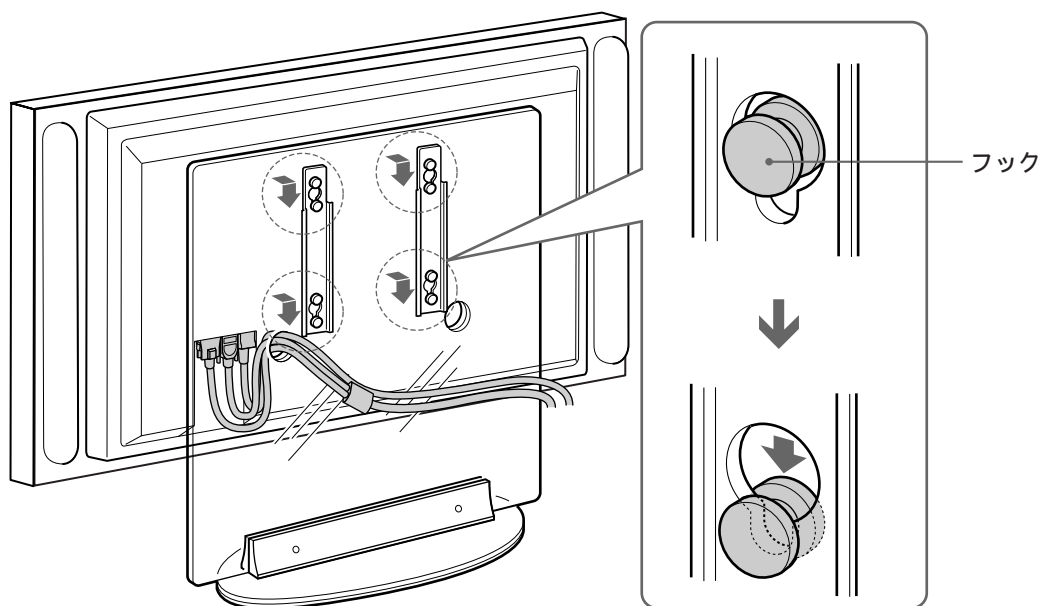
2

ディスプレイをスタンドに掛ける。

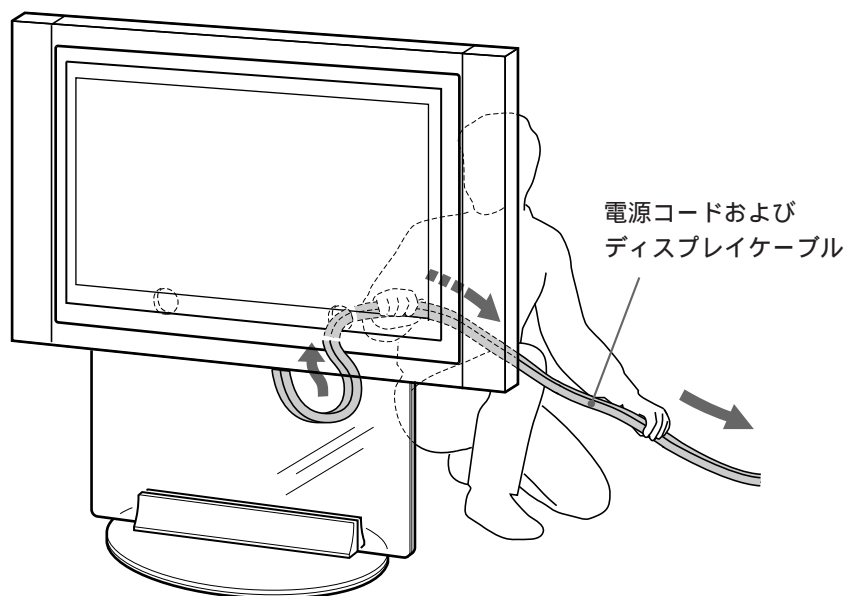
- ① 電源コードおよびディスプレイケーブルをスタンドの穴に通す。
- ② スタンドに付いている金具の4か所の穴を確認しながら、ディスプレイ後面のフックをゆっくりはめ込む。



- ③ 金具の4か所の穴にディスプレイ後面のフックが完全にはまったことを確認してから、ディスプレイをガチャッと音がするまでまっすぐ下におろす。



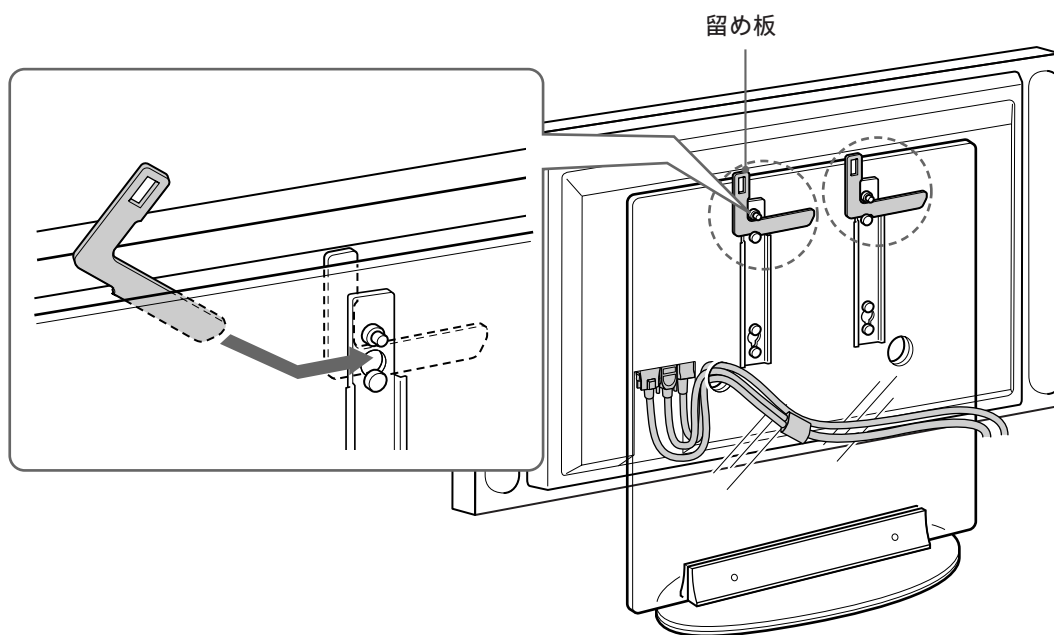
- 3** すでに通してある電源コードおよびディスプレイケーブルのたるみを直す。
スタンド後面の穴から電源コードおよびディスプレイケーブルを引っ張り、たるみのないようにする。



ディスプレイを固定する

留め板を差し込み、はずれ防止の処置をする。

- ① スタンドの金具の上部に付いているネジとディスプレイ後面のフックの間に、留め板を差し込む。
- ② 留め板の“L”字の角がネジにあたるまで横にスライドさせる。



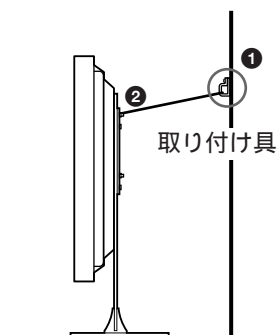
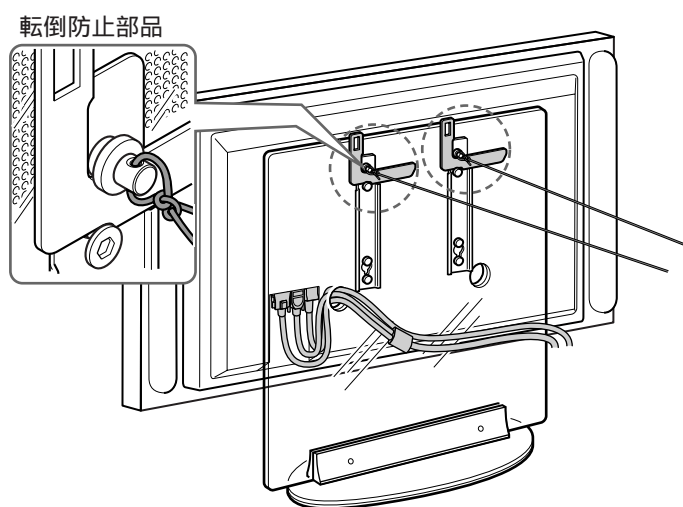
転倒防止の処置をする

⚠ 警告

転倒防止の処置をしないと、ディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。フローティングスタンドと壁や柱などをつないで、転倒防止の処置を行ってください。

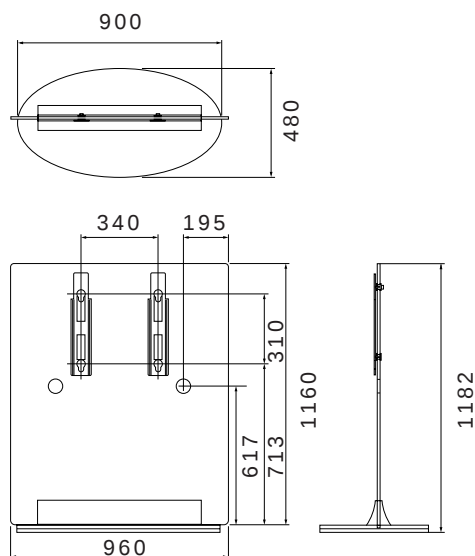
あらかじめ市販のひもまたはクサリと、壁につなぐための取り付け具をご用意ください。

- ① しっかりした壁や柱に取り付け具を固定する。
- ② フローティングスタンドの転倒防止部品にひもやクサリなどを通して、壁側の取り付け具にしっかりとつなぐ。



主な仕様

単位 : mm
質量 : 78 kg



● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>
お客様ご相談センター
● ナビダイヤル 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX 0466-31-2595
受付時間 : 月~金 9:00~20:00 土・日・祝日 9:00~17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。

Printed in Japan